

議会懇談会開催

特集 **ピックアップ懇談会**
町民の皆さまのご意見から…

第105号

2020年2月10日発行
発行 上富良野町議会

表紙写真：東中子どもかるた大会

第4回定例会

12月開催

町政を問う！議員8名の一般質問

地域医療構想意見書

町立病院の再編統合に対する

発議

町立病院が厚労省
再編統合対象に!?

平成30年度会計を徹底審査！決算特別委員会

下水道使用料改正を委員会に付託

かみふんの 議会だより



新企画！！

今さら聞けない議会のコト
らべとんの大冒険！！

町立病院の再編統合に対する意見書を提出

発議

地域医療構想に

関する意見書

厚生労働省は、地域医療構想の実現に向けて再編統合の再検証を求める公立・公的病院として全国424病院を公表し、令和2年9月までに結論を出すことを求めました。

上富良野町立病院もその対象に含まれています。町立病院は、地元住民にとって安心して暮らすための地域医療機関として重要な使命と役割を担ってきており、現在は町内唯一の有床及び急性期の医療機関として、慢性期医療から救急医療・予防医療などに貢献しています。我が町は活火山十勝岳のふもとの町として災害に対する医療的備えは

令和元年第4回定例会は12月11日から12日までの2日間開催し、各会計補正予算、条例の改正などを審議しました。公共下水道に関する条例の一部改正条例を総務産建常任委員会に付託し、決算特別委員会に付託された平成30年度各会計歳入歳出決算の認定などの議案を原案のとおり可決しました。

また、8名の議員が一般質問を行い、上富良野演習場の騒音区域の拡大要望、複合型拠点施設構想、子どもの医療費無料化についてなどの町の考えを問いました。

万全でなければならず、陸上自衛隊駐屯地、演習場も存在していることから隊員への医療対応なども想定しなければなりません。

町立病院は町民にとって欠くことのできない医療機関であり、将来の地域医療のあり方は地域が主体になって丁寧な議論を行いながら進めることが真の地方創生であり、地域の実情を十分に踏まえた柔軟な対応を強く求める意見書を国に提出しました。

授業料減免制度の現行水準を維持することを求める意見書

政府が令和2年度から導入する高等教育の就学支援制度と引き換えに、文部科学省は、現行の国立大学の授業料減免制度について廃止する方針です。

新制度の基準によって授業料免除を受けられていた学生が除外されるケースや、各大学が実施していた独自の授業料減免措置の多くが廃止されることとなります。今までどおり減免が受けられるよう制度の維持と予算の確保を強く求める意見書を国に提出しました。

条例

「成年被後見人等」の

文言を3条例から削除

「成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例」では、成年後見制度の利用と促進に関する法律に基づく措置として、成年被後見人及び被保佐人（以下「成年被後見人等」）の人權が尊重され、成年被後見人等であることを理由に不当に差別されないようにするため、成年被後見人等の資格、職種、業務等から一律に排除する規定を設けている各制度を改正する「成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律」により、地方公務員法及び児童福祉法の改正が令和元年12月14日に施行されることに伴い、当該法律を引用している「上富良野町職員の給与に関する条例」、「上富良野町職員の分限に関する条例」、「上富良野町家庭の保育事業等の設備運営に関する基準を定める条例」の3つの条例を改正するもので、原案のとおり可決しました。

災害弔慰金の支給等を改正

「災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例」では、被災者の返済負担を軽減するため利率を下げることに、災害援護資金の償還方法にも月賦償還を加える改正を原案のとおり可決しました。

下水道使用料の改正

「上富良野町公共下水道に関する条例の一部を改正する条例」では、公共下水道事業の健全な事業運営に必要な財源確保及び経営安定化を推進するため、令和2年10月に予定している下水道料金改定に関する条例改正について、町民生活に大きな影響がある改正となることから、特に慎重に審査を進める必要があると判断し、この条例改正案を総務産建常任委員会に付託しました。

補正予算

一般会計の補正予算を可決

主な補正の概要は、ふるさと応援モニター事業による寄付採納及び目的基金への積立、幼児教育・保育給付費等無償化事業費の財源組替等、給与条例改正及び会計間異動等に伴う職員給与費などの増額、各事業費確定に伴う執行残の減額の補正となっており、歳入歳出それぞれ7千499万8千円を追加し、

総額70億234万2千円とする補正予算を原案のとおり可決しました。

各特別会計及び

各企業会計補正予算を可決

国民健康保険・介護保険・ラベンダー・ハイツ事業・公共下水道事業の特別会計と水道事業・病院事業の企業会計は、給与条例改正に伴う職員給与などの補正、後期高齢者医療・簡易水道事業の特別会計は、事業費の確定による減額の補正予算を原案のとおり可決しました。

■ 12月補正予算の状況 ■

会 計 名		補 正 額	総 予 算 額
一 般 会 計		7,499万8千円	70億234万2千円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	1,874万4千円	13億5,003万9千円
	後 期 高 齢 者 医 療	▲98万5千円	1億4,530万円
	介 護 保 険	▲197万9千円	10億4,031万9千円
	ラベンダー・ハイツ事業	541万1千円	3億3,499万8千円
	簡 易 水 道 事 業	▲699万6千円	7,668万4千円
	公 共 下 水 道 事 業	▲40万円	3億6,294万4千円
企 業 会 計	水道事業	収益的支出	0円
		資本的支出	—
	病院事業	収益的支出	287万7千円
		資本的支出	20万円

第6回臨時会（10月8日開催）

- 教育用コンピューターの取得に関する契約の締結
- 南部地区土砂流失対策工事（べべルイ川）の請負契約の変更

第7回臨時会（10月29日開催）

- 平成31年度一般会計補正予算
- ◎プレミアム付商品券発行事業補助

第8回臨時会（11月29日開催）

- 平成31年度一般会計補正予算
- ◎特定防衛施設周辺整備交付金の二次配分額の確定に伴う次の事業の追加など
- ① 調整交付金事業基金への積立
- ② 防災用自家発電設備設置工事
- ③ ラベンダー・ハイツ事業特別会計への繰出
- ④ 日の出公園駐車場トイレ洋式化工事
- ⑤ 学校給食センター調理機器購入

- 平成31年度ラベンダー・ハイツ事業特別会計補正予算
- ◎電動ベッド・入浴用車椅子の購入

- 上富良野町職員の給与に関する条例の一部改正

第9回臨時会（12月27日開催）

- 社会教育総合センターの防災用自家発電設備設置工事請負契約の締結

平成 30 年度決算を 徹底審査！



令和元年 10 月 28 日・30 日・31 日の 3 日間、議長と議会選出の監査委員を除く 12 名で決算特別委員会（岡本康裕委員長）を開会し、平成 30 年度の一般会計、国民健康保険特別会計ほか 5 件の特別会計、病院・水道の企業会計の決算を審議しました。

分科会に分かれて全会計の歳入・歳出伝票の審査、議場で歳入・歳出に関する質疑などを行い、町長に一般会計 5 項目、ラベンダー・ハイツ事業特別会計 1 項目の意見を付し、原案のとおり認定すべきものと決定しました。

主な質疑

問 町営住宅について、入居決定者がすぐに入居とならず、数か月間、空室状態となっている事例があり、その間は家賃収入がなく、実際に入居するまでの期間は決まっていないのか。

答 入居決定者に許可を出し、本人が許可の請書や連帯保証人等一定の書類をそろえ、整った段階で敷金として住宅使用料の 3 か月分を収めた後に、一定期間で入居していただいている。今後は入居決定からすぐ入っていただくよう、あるいは入居料をいただくよう検討したい。

問 ジオパークについて、令和 2 年 5 月の申請に向けての見通しと、万が一認定されなかった場合の継続の予定は。

答 令和 2 年の申請に向け一生懸命活動している。前回指摘された事項を検証しながら進めているが、世界ジオパークにならないレベルが上がっており、指摘事項よりも、さらに厳しいものを実践していかなければならない状況であると認識している。

問 予約型乗合タクシーの運行について、利用者アンケートからわかるように時間設定など、乗りたいときに乗れない部分がある。業務委託している事業者の運転手確保等が大変だという話もあるが、料金設定や運行時間など見直しをされないのか。

答 1 日 8 往復、ドアツードアで運行している。通常のタクシーとのすみ分け、事業者の運転手確保など、現体制が最大限と思っている。一定程度見直すことも将来的にはあると捉えている。

第 4 回定例会において、決算特別委員会から「意見を付して認定すべき」との審査報告があり、認定することについて採決の結果、平成 30 年度各会計・企業会計の決算は認定されました。

6 項目の審査意見を付しました

一般会計

（歳入）

- 1 町営住宅について、入居期日の設定を検討されたい。

（歳出）

- 1 ジオパーク推進事業について、早期認定に向け条件整備に努められたい。
- 2 定住移住対策について、ホームページの内容充実・更新に努められたい。
- 3 予約型乗合タクシー事業について、町民ニーズに合った運行を検討されたい。
- 4 町道の維持管理について、オーバーレイによる整備も考慮し、計画的に進められたい。

ラベンダー・ハイツ事業特別会計

- 1 経営安定とサービス向上のため、介護職員の人材確保と育成に努められたい。



ページ	質問議員	質問事項
6	高松 克年 議員	① 上富良野演習場の騒音区域の拡大要望について ② 日米共同訓練について ③ 国土強靱化地域計画の策定について
7	荒生 博一 議員	① 複合型拠点施設構想について ② 上富良野町立病院の整備について
8	元井 晴奈 議員	① 子どもの医療費無料化について ② 十勝岳ジオパーク推進事業への今後の取組みについて
9	小林 啓太 議員	① 移住促進について
10	中瀬 実 議員	① 選挙の投票率向上にむけての対策は
11	米沢 義英 議員	① 病院の再編統合と整備計画について ② 道路整備について ③ 防災対策について
12	中澤 良隆 議員	① 広域連携の取組みについて ② 補聴器の補助について
13	金子 益三 議員	① 道の駅上富良野を設置してはどうか ② 富原運動公園のテニスコートの改修を



—高松 克年 議員—

演習騒音地域の拡大を要望しないのか

指定基準の見直しと
区域拡大を引続き要望していく（町長）

環
境



東中地区の騒音モニタリングポスト

高松議員 本年度8月まで、毎月の騒音最大値が95・8 dBから、102・5 dBとなっている。砲撃音回数は昨年同期比27%増となっている。指定地外にある測定値で81 dBの基準を越えている実態もある。騒音地域拡大の要請行動とその実態について伺う。

する値ではない。町は継続して測定値をもって、区域指定の見直し拡大を求め、関係団体と連携して要望活動を展開し、防衛省等に要望する。

高松議員 国会での住宅防音工事に関する質問に、81 dBを超える騒音があった場合との答弁であり、平均値等はふれられていないが。

向山町長 騒音測定の数値は、平均値を使用することが定められている。

高松議員 国は平成26年国土強靱化基本計画を策定。地方公共団体策定の国土強靱化地域計画と調和を図り取組むとある。町は防災計画を策定しているが、国土強靱化地域計画策定による取組みにどのような違いがあるか。今後、他の市町村と同様、一層の防災・減災の備えが必要となる。町は国土強靱化地域計画策定に取組むのか。

向山町長

現在の地域防災計画は、発災後の対応が多くを占めている。国土強靱化地域計画は、大規模自然災害の発災前の事前防災・減災と迅速な復旧・復興の施策の総合的な取組みをまとめ、発災前の対応が占めている。総合計画のもとで他の計

防 災

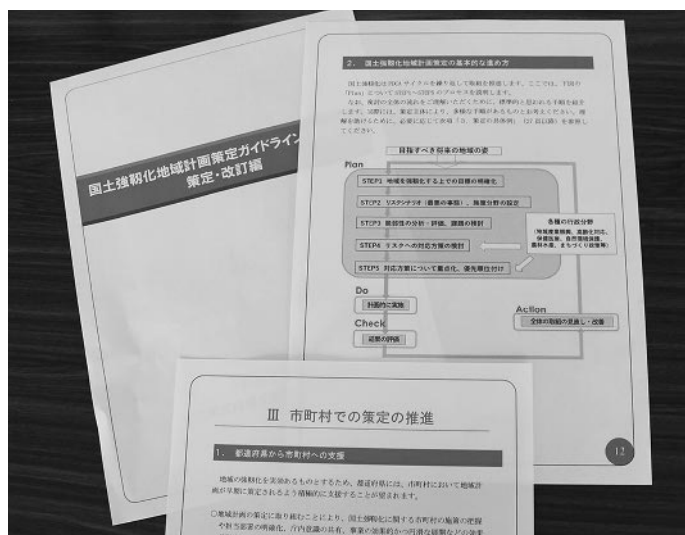
国土強靱化地域計画策定の取組みは

早期策定の準備を進めている（町長）

画の一施策と捉えている。現在、国が検討している、令和3年度から補助事業等の採択条件に強靱化地域計画の策定及びその計画内での位置付けが要件となり、早期策定準備を進めている。

高松議員 強靱化地域計画策定のリスクシナリオ第一に取組むものは。

向山町長 防災計画上、リスクは、各個別計画で調査が行われ、強靱化地域計画にそれらを表現すると思われる。



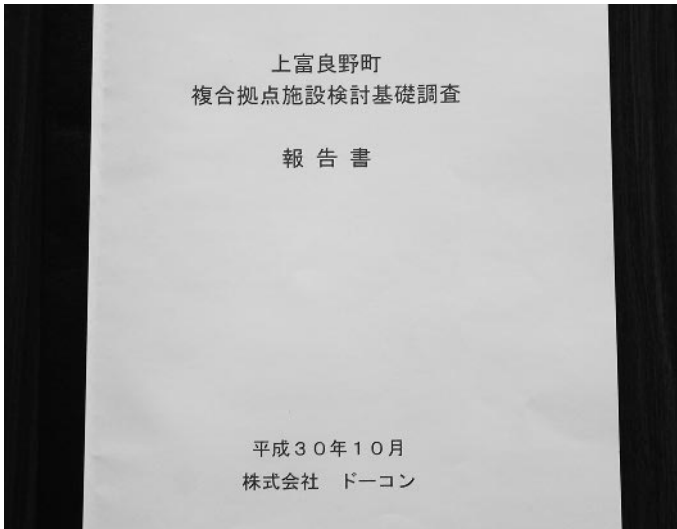
国土強靱化地域計画策定資料



施設

— 荒生 博一 議員 —

なぜ道の駅の機能をもたせることが駄目なのか 道の駅に軸足を置いた 整備計画とはしない（町長）



委託成果品である報告書

荒生議員 本年3月の定例会において町長は、「私の想定の中に道の駅という位置付けは想定していない」と答弁されているが、なぜ道の駅としての機能をもたせることが駄目なのか考えを伺う。

向山町長 道の駅に備えられている機能を全て否定するものではなく、整備の前提を道の駅とした場合は、具備しなければならぬ機能（24時間のトイレ等）や、施設の運営方法、さらには立地面での条件（利便性のいいところに設置）等も限定されると思われるため、道の駅に軸足を置いた整備計画とはしないと考えている。なお、計画の遂行上、一部、道の駅整備事業を活用し、かつ本来の事業目的を果たせると判断できた場合には、本制度の活用を検討対象にすることを考えている。

病院

厚生労働省の公表による
新病院建設への影響は

大きく影響を

及ぼすものではない（町長）

荒生議員 9月26日厚生労働省が、再編統合の再検証を求める公立・公的病院として、全国424病院を公表し、その中に上富良野町立病院も入っており、報道などで知った多くの町民の方々から

存続が心配されている声が寄せられた。新病院建設への影響が心配されることが町長の見解は。

向山町長 9月26日の公表以後の厚生労働省からの通知においては、再検証に向けた基本的な考え方として、地域医療構想の実現に向けてさらに取り組みを進めていく観点から、客観的なデータを国から提供し、各医療機関が担う機能や病床数等について再検証を求めるものであり、「必ずしも医

療機関そのものの統廃合を求めるものではなく、病院が将来担うべき役割や、それに必要なダウンサイジング・機能分化等の方向性を機械的に決めるものではない」との通知をいただいていること



整備が待たれる町立病院

—元井 晴奈 議員—

子どもの医療費無料化を 医療費無償化は想定していない（町長）



子どもの医療費無料化を望む声

元井議員 子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケートで子どもの医療費無料化を望む声が多くみられたが、子どもの医療費助成をさらに拡充する考えはあるか。

向山町長 現在の医療費助成に一定の理解と合理性が得られていると理解しており、全ての子どもの医療費無償化は想定していない。

元井議員 隣町（中富良野町・美瑛町）は中学生

までの医療費完全無料化を実現しているが。

向山町長 給付事業については非常に慎重であるべきだと考えている。

元井議員 医療費無料化は子育て世代の直接的経済的支援のみならず移住定住の判断材料の一つの要素としてつながっていくと思われるが。

向山町長 医療費無償化が定住移住を決定する本質的な判断材料になるという理解は持ち得ない。

ジ オ

十勝岳ジオパーク事業の今後は

専門員確保が 最重要課題である（町長）

元井議員 認定に向けた進捗状況並びに再申請時期の見込みは。

向山町長 認定見送り時に示された課題の改善を図っているが、専門員なしでの申請は想定しておらず、3月には決断しなければならぬため、今非常に岐路にある。

元井議員 専門員の確保についての見込み、雇用形態、採用条件等は。

向山町長 専門員の確保は最重要課題であり、町職員として採用するか等諸条件の検討を行い早期任用に向け努力する。

元井議員 認定後のランニングコストは、ジオパーク拠点施設の整備や運営等に今以上のコストがかかると思うが。

向山町長 認定後において

ても予算の内容及大きく変化することはないと考えている。

元井議員 ジオパーク認定辞退、認定取り消しの自治体もできているが一度立ち止まり町民と共に回帰してみる考えは。

向山町長 ジオパークの取組みは認定が目的ではなく、それぞれ地域に合った特性を生かし、資源を守り郷土教育を充実させ、安定して持続的な発展を目指す事業にしていきたいと考えている。



十勝岳ジオパーク推進事業



移住

—小林 啓太 議員—

ターゲットを明確にした移住対策を ホームページの予算確保に努めたい（町長）



上富良野町の移住促進ホームページ

小林議員 移住を実現するシステムとして現時点ではどのようなターゲットを設定しているのか。

向山町長 後継者がいない、働き手が不足しているなど、事業継承や人材不足が課題となっている実態と、一方で移住と仕事を求める現役世代とのマッチングを掲げており、これらを推進するため、住まい、仕事、暮らしを組合わせた移住体験プログラム構築等を進めてま

いりたい。

小林議員 ホームページに関して、予算を確保してリニューアルを行っていく考えがあるか。

向山町長 現在のホームページは作成から一定の年数が経過しており、掲載内容の見直しが必要な部分もあり、より効果的に情報が伝わるよう、次年度に向けて必要な予算の確保に努めながら、充実に努めてまいりたい。

小林議員 ホームページ

が適正に運用されれば、閲覧している人の基本属性、検索地域、使用機器、検索ワード、サイト内閲覧の詳細など、大変重要なデータが収集できると考える。データの収集・活用を前提としたリニューアルに向けた議論が必要と考えるが。

向山町長 ホームページ

等を活用した副次的な情報収集等については、専門家ではないのでそういった知識や知見も持ち合わせてないが、大変重要なことだと思い、研究・検討していきたい。

小林議員 移住促進を近隣の富良野圏域の各市町村と協力して推進していくことが効果的であり、そうすべきであると考え

るが。

向山町長 移住者の確保

に関しては、ぜひ我が町にという意識が強く表れる政策でもあり、それぞれの市町村が独自性をアピールし、違いを強調し

ながら取組みが進められている状況にあり、政策的な中身において協調した展開は難しい。

小林議員 政策的な中身

までは足並みを揃える必要はなく、「入り口は富良野エリア」「出口は上富良野」となるように努力するべきであると考え

向山町長 理論的にはそ

のような形が望ましいと思うが、この政策的なことになるとお互いの内

を明かさず、手を結びづらいのが実態であり、ハードルが高い。

小林議員 難しさは理解

した上で取組むべきと考えるが、町長が旗を振って取組んでいく意気込みはあるか。

向山町長 どこまでリー

ダーシップを発揮できるかはわからないが、各施策にに応じた地域の連携、あるいは個々を尊重し、各目的によって使い分けしていくしかない。



富良野市の移住促進ホームページ



—中瀬 実 議員—

選挙

選挙の投票率向上対策は

それぞれの立場で

啓蒙していく（選挙管理委員長）



令和元年の町議会議員選挙の投票所

中瀬議員 期日前投票の
人数と割合を伺う。

松本選挙管理委員長 平成27
年町議選挙2千569
人、39・22％。平成28年
参議院選挙2千794
人、48・51％。町長選
挙2千556人、40・
28％。平成29年衆議院
選挙3千153人、50・
98％。平成31年知事選挙
2千789人、48・29％。
令和元年参議院選挙
2千740人、51・50％。
町議選挙2千860人、

45・95％となっている。

中瀬議員 今年度から郡
部の投票所が一部を除き
廃止されたが、このこと
により投票率が下がるこ
との議論はされたのか。

松本選挙管理委員長 投票区
の見直しを検討する中で
現在の投票状況は期日前
投票制度開始以降、選挙
を重ねるごとに期日前投
票の利便性が有権者の皆
さんに浸透したこともあ
り、概ね投票者の半数の
方が期日前投票をしてい

る。また、小さな投票区
から当日の立会人の確保
にも苦慮している旨を
伺っており、町選挙に
おける選挙執行経費の縮
減を図ることを旨として
選挙管理委員会において
協議したうえで、平成29
年11月住民会長との町政
懇談会で見直し案を示し、

平成30年11月の住民会長
との町政懇談会で確認い
ただいた。投票所への距
離が遠くなることにより
不便になるとの意見も

あったが、多くの方が投
票所までの移動手段は車
であり、また、期日前投
票制度が浸透しているこ
と等、大きな支障はない
と判断した。

中瀬議員 今回試行的に
草分防災センターに期日
前投票所が開設されたが、
何人投票されたのか、ま
た、今後の選挙において
開設する予定は。

松本選挙管理委員長 草分防
災センターの投票者数は
男83名女55名計138名

であった。
今回の期日前投票所の
設置は複数の期日前投票
所の設置による期日前投
票事務の可能性や課題等
を把握するために実施し
た。今後の選挙において
の設置は、今回の結果を
踏まえ研究・検討してい
く。

中瀬議員 今後
の選挙において
投票率の向上の
啓蒙対策は。

松本選挙管理委員長 新成人となる
時期に選挙管理
委員会として、
年賀状を送ること
で、有権者と
なる意識喚起を
行っており、法
律改正後は対象
年齢を引き下げ
た。また、町内
小学校に明るい
選挙啓発標語の
募集を行い、最
優秀となった作
品について、選

挙啓発活動の中で活用さ
せていただいている。各
選挙における投票は、全
世代を通じ暮らしている
地域のあり方、社会の形
成について責任を担うこ
とであり、極めて重要な
行為である。それぞれの
立場で啓蒙していく。

平成30年度明るい選挙啓発標語

最優秀賞

「選ぼうよ みんなの笑顔 まもる人」

さいとう おとは
斉藤音羽さんの作品

明るい選挙の標語



病院

—米沢 義英 議員—

病院の再編統合に抗議を

北海道を通じて遺憾の意を述べた（町長）



病院の再編統合の対象となった町立病院

米沢議員

再編統合の必要性のある病院として町立病院が公表された。

町立病院は、町民の健康と命を守り続けてきた地域に欠かせない医療機関であり、地域の実情を無視した病床の削減に抗議をすべきでは。また、町立病院の整備計画が、中止に追い込まれることがあってはならないと考えるが。

向山町長 病院の再編統合は、医療機関に対し再検証を促すことを目的と

しており、医療機関そのものの統廃合を求めるものではなく、今回の病院の再編統合の公表によって、町立病院整備計画に影響を与えるものではないものと判断をしている。

北海道町村会として、「国が強制的に再編・統合を押し付けることなく、地域の実情を十分踏まえた柔軟な対応を行う」よう、強く要望してきている。本町としても、北海道を通じて、遺憾の意を述べた。

防 災

災害時における情報提供の工夫を

改善が図れるように努めたい（町長）

米沢議員

胆振東部地震

では停電が発生し、多くの町民が不安の中で過ごした。特に乳幼児を見ながらの生活は大変で、避難場所、ミルクや食事、水の確保などの情報が少ない中で生活に不安を感じたと聞く。災害時における防災無線やメール、総合相談窓口など、情報提供の工夫が必要では。

向山町長

胆振東部地震

では、全停電を受け、災害対策本部を設置し、災害等の各種情報を防災無線等により提供し、避難所の開設・運営を進めた。子育て世代への情報提供は、災害対策本部が収集する情報に基づき、諸対応や公共施設等の状況を防災無線により情報提供



災害時に避難所となる保健福祉総合センター「かみん」

し、各部署では住民からの相談等の対応に努めた。子育て世代に限らず、それぞれの要望に応じた情報が提供できたとは言えず、後の課題に挙げられ、今後の防災対策の中で改善が図られるよう努めたい。

子育て世代・女性や高齢者などの避難所の運営については、様々な課題が挙げられており、避難所の配置や個別ニーズに対応したエリアの確保など、実際の運営を想定した対策、訓練などを検討したい。



—中澤 良隆 議員—

行政

近隣市町村と連携した町づくりは 広域連携で効率的な運営を進める（町長）



テレビ会議での富良野地区介護認定審査会

中澤議員 人口減少が進む中で、町を持続させるため広域連携の取組みは有効な手段だと考える。

近隣市町村と連携しての町づくりの考え方は。

向山町長 様々な行政需要に対応するためには、単独自治体だけの取組みだけでは限界がある。

富良野沿線市町村や多くの市町村と連携し事業を進めてきている。現時点で「市町村合併」や「圏域行政」に取組む考えは

持っていない。

中澤議員 「広域連合」「定住自立圏」に取組んできているが、この事業の見解と、今後の方向性について伺う。

向山町長 構成団体間で十分な協議を重ねてきた結果、現在の内容になっている。拡大や縮小する事業や新たに取組むべき事業は想定していない。現在の枠組みを活用し、効率的な運営を図ることが重要と考えている。

福祉

補聴器購入の助成を設ける考えは

町独自の助成創設は

考えていない（町長）

中澤議員 今後、ますます超高齢社会になり、高齢化率が高まってくると思われる。

難聴がある人は、閉じこもりがちになり、認知症になる確率が高くなると言われている。また、大半の人が高額な補聴器を自己負担で購入しているが。

向山町長 加齢性難聴は、医師の診断に基づく補装具費支給制度による補聴器補助制度を活用していただくことが適正と考えている。

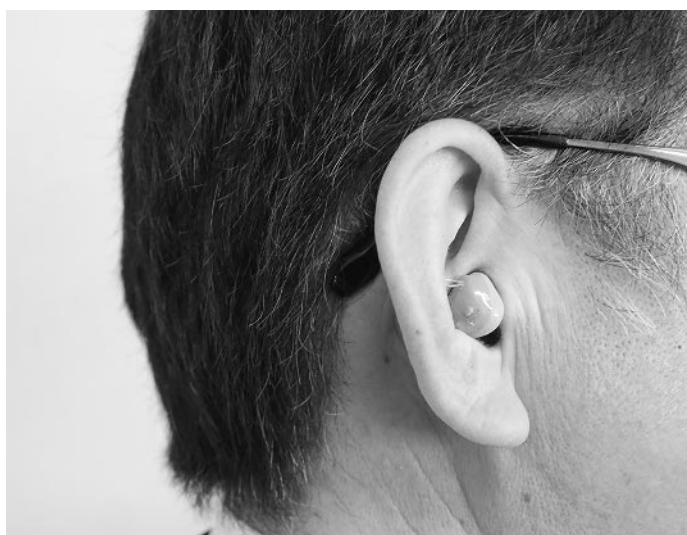
また、加齢性難聴と認知症の因果関係は国の研究機関において、認知症機能低下予防効果について研究に着手したと聞いており、その因果関係、補聴器による効果等も未

知数であることから、国の動向を注視していく。

中澤議員 加齢性難聴は、認知症の危険因子の一つと言われている。認知症の予防、健康寿命の延伸、医療費の抑制の観点から補聴器購入の助成制度を

設ける考えはないか。

向山町長 現在のところ町独自の助成制度の創設は考えていない。健康寿命を延ばして、元気で一日でも長く暮らしていただくことが最大の願望である。



耳あな型補聴器



施設

—金子 益三 議員—

富原テニスコートの改修を 前向きに検討していきたい（教育長）



水はけの悪い富原テニスコート

金子議員 富原運動公園内のテニスコートは老朽化が進み、水はけも悪く危険で、全天候型のコートへ改修を行う考えはないか。

服部教育長 昭和52年に3面、平成2年に3面の6面のコートが現在、設置されている。指摘の課題は十分に認識しているが、全天候型のコートへの改修は多額の経費が必要なため、課題解決に向け、引き続き検討を進めていく。

金子議員 生徒児童のスポーツ振興、町民の健康増進のためにも、改修していただきたいが。

服部教育長 6面全ての改修は今後、検討を深め、財源の問題などが片付けば、3面については改修をしたい。クレーコートの暗渠も十分でなくなってきたており、実態を検証して整備計画を新たに策定し、できる限り早期に整備を進めたい。

施設

「道の駅かみふらの」は作らないか

道の駅を前提とした

整備はしない（町長）

金子議員 町が計画している複合拠点施設を「道の駅」として整備しないか。

向山町長 複合拠点施設の整備計画は産業をはじめとした魅力発信拠点として、また町民が気軽に集える居場所としての機能を発揮できるように検討を進めている。道の駅整備を前提とせず複合する機能、利用者、立地条件など制約を受けない中で施設整備を進めることが重要と考える。

金子議員 町民アンケートでも多くの声として道の駅が望まれているが。

向山町長 道の駅が持つ機能を否定はしないが、こだわりを持って構築すると町民から寄せられた



町づくりの中心となっている道の駅

思いから離れる心配がある。

金子議員 現在の道の駅は高齢者施設や、こども園、診療所との併設など非常に多様性に富んでいて、十分に複合型拠点施設として活用が図られると考えるが。

向山町長 冬の閑散期に對するコストが重荷になり、後世に残す負の部分となる。観光施設を作るのではなく、集客のツールとして道の駅を標榜することに強いこだわりはない。

議会運営委員会

令和元年第3回定例会において、閉会中の継続調査として申し出をした先進市町村行政調査を実施しました。

議会活性化の取組み

先進市町村行政調査を実施

令和元年9月から3回の委員会を開催して調査を行い、11月5日渡島管内八雲町議会で、11月6日空知管内栗山町議会で「議会活性化の取組み」について、先進事例の調査を行いました。

◆八雲町◆

八雲町の総人口は約1万6千350人。八雲町議会は、議員定数16名（欠員2名）。総務経済常任委員会6名、文教厚生常任委員会7名、広報広聴常任委員会7名、議会運営委員会6名の構成となっています。

八雲町議会の取組み

（1）議会基本条例

八雲町と熊石町の合併、地方分権の推進などの時代要請から「わかり

やすい議会」、「開かれた議会」を確立するために議会運営の基本事項を定めた「八雲町議会基本条

例」が平成25年9月に制定されていました。

八雲町議会は、小さな改革を継続的に進めていきましたが、町民から見ると議会は遠い存在と感じられており、距離感を縮めることが当時の課題でありました。

条例の制定により、議会活性化の基本的事項を町民や議会、議員が共有することにより、町民の議会に対する関心度が高まったこと、議員同士の討議の場が格段に多くなりました。また、常に進化する議会を目指し、町民にとって、議会にとって良いと思われることは、随時見直し協議を進めるといった柔軟な対応が図られていました。

（2）議会報告会

議会報告会は、町民への説明責任を果たすとともに、町民の意見を議会活動に反映させること等を目的に、議会基本条例で制度化されていました。

開催にあたっては日程、会場、曜日、昼夜等が検討され、より多くの住民が参加しやすいように工夫されていました。

（3）一般会議

町政の諸課題に柔軟に対応するため、町民団体等と自由に情報及び意見を交換する一般会議が開催されていました。

開催方法は、町民団体または議員から議長へ申込書を提出し、議会運営委員会、全員協議会にて審査のうえ開催を決定。また、出席議員については、申込みのテーマにより所管する委員会などを中心に、議会運営委員会で決定していました。

（4）議会中継

仕事などの都合で傍聴が困難な町民のために議会中継が行われていました。

配信はYouTubeで行い、スマートフォンやインターネットに接続されたパソコンから視聴す

ることが可能となりました。

平成30年12月定例会からライブ配信が開始されました。

（5）一般質問答弁事項進捗状況調査

一般質問において、町側から「検討する」などの答弁があった場合、町民への説明責任を果たすための議会として必要に応じたその後の対応を調査し公表を行っていました。

た。

要綱を制定し、平成30年第3回定例会から実施していました。

（6）一般質問及び議員に対するチェックシート

一般質問の持つ監視機能、政策提案機能をより一層発揮することを目的に、議会や議員の力量向上のため、議員間のチエックや傍聴人からの意見を聞くことに取組んでいました。



八雲町での先進行政調査

◆栗山町◆

栗山町の総人口は約1万1千650人。栗山町議会は、議員定数12名。総務教育常任委員会6名、産業福祉常任委員会6名、

広報広聴常任委員会11名

(うち4名「広報小委員会」)、議会運営委員会

6名の構成となつています。

栗山町議会の取組み

(1) 議会基本条例

議会は、自由かつ達な討議を通して、論点・争点を発見、公開することは討議の場である議会の

第一使命との認識のもと議会運営の最高規範として平成18年5月に施行されていきました。自治基本

条例は議会基本条例施行

後の平成25年4月施行されていきました。

条例は、第一に徹底した情報の公開と共有、第二に住民参加の機会の保障、第三に積極的な議員間の討議を柱としていました。

〇議会基本条例の

主な特徴

- ・町民や団体との意見交換のための議会主催による一般会議の設置
- ・年1回の議会報告会の開催を義務化
- ・議員の質問に対する反問権の付与
- ・政策形成過程に関する資料の提出の努力義務
- ・議員相互間の自由討議の推進
- ・最高規範性と毎年の見直しを明記
- ・町民から議会運営に関し提言を聴取する議会モニターの導入
- ・正副議長志願者の所信表明の導入

(2) 議会報告会

議会基本条例の根幹と

位置付けられ、議会の監視機能や政策提言活動など議会活動の状況を直接

報告・説明し、町政に関する情報の提供に努めると共に、議会活動に対する批判や意見、町政に対する提言などを直接聴取する機会としていました。

(3) 自由討議

政策水準の向上と合意形成を図ることを目的に、現に議題となっている事件に対し、論点や争点について、また、町政課題全般についても議員間の自由な討議を行っていました。

(4) 一般会議

町政の諸課題に柔軟に対処するため、町政全般にわたって議員と町民が自由に情報や意見を交換する場として一般会議が設置されていきました。

(5) 政務活動費

地方分権一括法により地方公共団体の政策は複雑・多岐にわたっており、議員は住民の付託に応え

るため、広範かつ専門的知識を必要とし、不断の調査・研究活動が要請されていることから、資質向上のために政務活動費が支給されていきました。平成15年4月から年額9万6千円、平成27年4月からは年額24万円に改

◆まとめ◆

正されていきました。

(6) 議会モニター

NPO役員、会社役員、農業者などが議会モニターになり、年2回程度モニター会議が開催され意見交換を行っていました。議会モニターから議員になった例もあります。

八雲町議会と栗山町議会は議会の基本事項を定めた「議会基本条例」を制定し、そのことにより議会の活性化や議会改革が著しく前進していたことが伺えました。「議会報告会」や「議会モニター制度」など、どちらの町議会も、町づくりへの住民参加の推進、積極的な情報公開、議員の自己研鑽と資質の向上を目指し、様々な制度が導入されていきました。

また、議員間の自由な討議の機会が設定されていたり、定例会後に一般

町民と議会との協働の町づくりを進めるため、町民の意思を反映し、八雲町議会、栗山町議会の優れた取組み事例を参考に、より信頼され、より身近な議会になるよう常に前向きに議会の活性化や議会改革に取り組むことが必要であります。



栗山町での先進行政調査

議会運営委員会

議会では、広く町民の皆さまと懇談するため、11月28日に第10回議会懇談会を開催しました。

第10回議会懇談会を開催

午前に「草分防災センター」と「東中会館」夜間に「セントラルプラザ」と「かみん」の計4会場で開催し、議員13名が町民63名の皆さまと「議会・議員に求めるもの」をメインのテーマに懇談しました。今回「かみん」の会場では託児所も用意し、子ども連れでも参加しやすいよう取組みました。



セントラルプラザ会場

今回はできる限り多くの町民が発言しやすいように円卓風に席を配置し、全員が発言できるような雰囲気づくりと進行を工夫して開催しました。「議会・議員に求めるもの」や、まちづくり全般についての意見や質問などを懇談して、相互の意見交換が活発に行われました。今回いただいた議会懇

談会の実施方法などの貴重なご意見も参考にしながら、今後もより議会と町民の距離を縮められるような懇談会を目指し、開催していきます。なお、議会で報告した議会懇談会結果報告と各会場でいただいた貴重なご意見は、今後、議会ホームページに掲載しますのでご覧ください。

いただいた主なご意見

【議会運営】

- ・中学生の学習の一環で傍聴者を増やすなど、検討して欲しい。
- ・インターネットで議会活動情報を見られるようにしてほしい。相談に行くために議員の得意分野などのプロフィールを掲載してほしい。
- ・対話できる場が欲しい。
- ・議会の見える化が欲しい。若者に配慮して欲しい。インターネットが充実していないので

不便である。

- ・議員ポストをつくれればよい。議員が目を通して一般質問などをしてもらいたい。
- ・議員にもっとまちづくりを考えてもらいたい。
- ・議員がインターネットを通じて情報をもっと発信すべき。
- ・議会広報を読み易く、文字を大きくしてほしい。

【町立病院】

- ・病院は存続してほしい。

住民に情報発信してほしい。

- ・子育て世代として、町内に小児科が欲しかった。親子ともに具合が悪いときに町内に小児科があったほうが良い。
- ・病院が遠くになれば通院が厳しい。
- ・ラベンダーハイツも老朽化し、町立病院と併設できないかの話を議会でしているのか。
- ・本町は駐屯地と演習場もあり、防衛省と一緒に国に意見してほしい。老健を守ってほしい。
- ・議会で議論して欲しい。
- ・高校と病院のない町に自衛隊はない。

【行政課題】

- ・自然災害が大きくなっている。想定外など地域と十分に協議されたい。
- ・町広報のお知らせ版は行事のお知らせばかりで結果のお知らせがない。

ない。

- ・少子高齢化だが、60〜70歳代のほうがパワーがあることを実感している。
- ・子ども達が上富良野に住みたいと思える、戻ってくる環境がないと上富良野町に戻れない。
- ・農業者が減少している。基盤が活性化しないと減少は止まらない。まちの目玉がないことが問題である。
- ・町には「何々のために必要だ」など、訴えるものを国に言うていかないといけないのではないか。
- ・ターゲットを絞って情報発信すべき。職員にも上富良野の情報発信をして欲しい。
- ・キャッシュレス化、祭り運営など、町全体のこととして議員も考えてほしい。
- ・キャッシュレス化が進まないのは、WiFi環境が無いなどの高

高齢者経営の店舗がある。後継者がいないためワイファイも整備しない

など、いろいろな原因がある。

特集 ピックアップ懇談会

『町立病院を存続させてほしい』

2019年9月に厚生労働省が公表した、再編統合の再検証を求める公立・公的病院の中に上富良野町立病院も含まれており、この件に関する質問をとても多くいただきました。厚生労働省は、

「必ずしも医療機関そのものの統廃合を求めるものではない」という、第4回定例会においての一般質問に対する町長の答弁があり、直ちに町立病院がなくなってしまうというのではありません。詳しくは一般質問のページもご参照ください。



村上議長あいさつ

また、議会として国に対し、意見書を提出しています。詳しくは2ページをご参照ください。

『インターネットで議会活動情報を見られるようにしてほしい』

個々の情報発信に関しては議員それぞれの活動（議員活動）に委ねられるところではありますが、ユーチューブを使った議会のライブ中継などは先進地の事例でもあるように、議論を重ねた上で、その取扱いを議会に委ねられています。ただ、現状ではライブ中継を行っている市町村においても閲覧数は必ずしも高くなく、予算を割く以上は効果的な運用を含めて議論を深めていく必要があります。

『自然災害などに対し地域と十分に協議された』

近年の大規模災害などの経験から、総務産建常任委員会では、閉会中の

継続調査のテーマとして「防災対策」を取り上げ、上富良野町においても十分に災害に対する備えがされているか等の調査を行っていきます。委員会報告に関しては定例会や議会だよりでお伝えするので、議会の傍聴や議会だよりのご参照をよろしくお願ひします。

『議会広報（議会だより）を読み易くしてほしい』

内容に関しては報告案件がメインなため、どうしても堅苦しいものになってしまいがちです。そんな中でも、少しでも多くの世代の方に議会に興味を持ってもらおうと、新人議員4名を含む全6名の委員で試行錯誤をしています。まずは今号の第105号から表紙のレイアウトや字体、企画記事が少し新しくなっていることにお気づきいただけますでしょうか？是非、広報紙面へのご意見をお寄せください。

今後に向けて

今後も引き続き、町民皆さまの意見を聞きながら議会活性化とともに、町民にとって身近で開かれた議会を目指して、アンケート結果をもとに多くの町民が参加できるよう、より興味を持ちやすい議会懇談会のテーマや参加しやすい実施方法などについて、さらに検討し見直しを進めていきます。

議会懇談会は今後も随時開催していきます。町民皆さまの意見を一度に多くの議員や町民に直接伝えられるので、共感する町民や議員を見つけた絶好の機会でもあります。

多くの町民の皆さまのご参加を議員一同、心よりお待ちしております。



東中会館会場



らべとんと



サトル先生の

今さら聞けない議会のコト その1

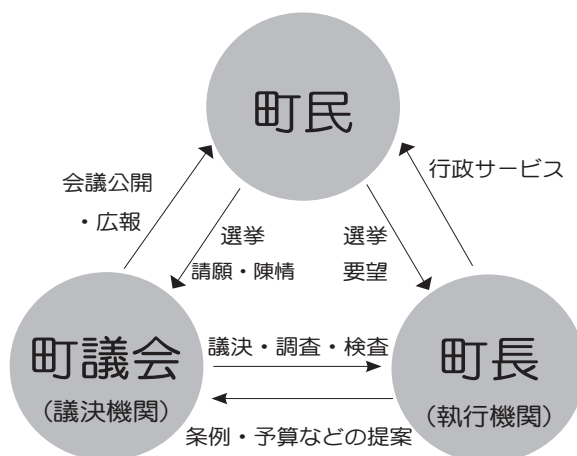


サトル先生こんにちは！ 去年、上富良野町議会の議員選挙が行われていましたね そもそも議会は何をしている所なのですか？



やあ、らべとん！ 君ももうすぐ選挙権... あっ！永遠の17歳だったね（笑）町の政治や議会に興味を持つことはとっても良いことだよ

議会の役割はたくさんあるけど、町長が町のルール（条例）を変えたい！とか、これにお金（予算）を使いたい！と提案をした時に、議員の多数決で賛成か反対かを決める（議決）のが最も大切な仕事だね



議員の責任は重たいのですね...



うん、すごく重たいよ だから普段から町民に町の現状を正しく伝えること、町民の意見にしっかりと耳を傾けることが大切なんだ



私も一町民として、大好きな上富良野の未来を決める大切な場である議会のコトをもっと学びたいです

次号へ
つづく

議会の窓



11月14日	厚生文教常任委員会 議会運営委員会
22日	全員協議会
25日	議会広報特別委員会 第10回議会懇談会（4会場）
28日	全員協議会
29日	第8回臨時会
12月3日	議会広報特別委員会 厚生文教常任委員会 総務産建常任委員会 議会運営委員会
4日	全員協議会
5日	全員協議会
11日	議会広報特別委員会 第4回定例会（1日目）
12日	全員協議会
25日	議会広報特別委員会 第4回定例会（2日目）
27日	議会運営委員会 全員協議会
1月9日	第9回臨時会
15日	総務産建常任委員会 厚生文教常任委員会 議会広報特別委員会 議会運営委員会
2月4日	全員協議会
16日	議会広報特別委員会 第1回臨時会
17日	議会広報特別委員会
27日	議会広報特別委員会
28日	議会広報特別委員会

◆全国町村議会議長会より表彰されました。

全国町村議会議長会が昭和24年11月に設立され、この度の設立70周年を記念して11月13日の記念式において、会務運営に功労のあった方が表彰されました。

特別功労者表彰として西村 昭教 前議長が、北海道町村議会議長会の会長を4年務められた功労により、表彰されました。



西村前議長

永年功労者表彰として米沢 義英 議員が町議会議員として30年以上にわたる功労により表彰されました。



米沢議員

議会を傍聴してみませんか？

町議会では年4回、3月・6月・9月・12月に定例会を開催し、また、必要に応じて臨時会を開催しています。

議会の傍聴は、最も身近な議会活動に触れることのできる機会です。議会では住民生活に関わる様々な案件を真剣に審議しています。

また、定例会では議案のほかにも議員が行政（町長や教育長）へ質問をする「一般質問」も行なわれます。

次の定例会開会予定は…

3月4日（水）	報告案件、補正予算など
5日（木）	執行方針、新年度予算など
10日（火）	一般質問
11日（水）	一般質問
18日（水）	条例改正など

※この日程は変更になる場合がありますので、ご確認のうえ、役場3階の議場までお越しください。

お気軽にお越しください。

たくさんの方の傍聴をお待ちしています！

— お問い合わせ —

上富良野町議会事務局 ☎ 456992



らべとんの大冒険！！

第1回

らべとん
図書館ふれんどに
行ってみたの巻

そもそも、図書館ってどこにあるの？公民館の1階！？
えほん・マンガ・雑誌もあるの？
ちよっと、冒険に行ってみよう！



図書館運営に年間約 980 万円
・新刊図書購入に約 200 万円
・学校図書館支援に約 65 万円
・子ども読書推進事業に約 30 万円

活字離れが進む中、世代問わずみんなが図書に親しめる環境づくりをこの予算で進めています。

まちの声をきいてみたよ！

子どもがスタンプ集めにはまっています、先日えんぴつをもらってとても喜んでいました。
30代 女性

私もいっぱい本を読んでスタンプ貯めよう♪
30代 女性

自習室が夏は日差しでとても暑い。肘掛けのある椅子を増やしてほしい・・・
60代 男性

建物の老朽化もあるし、スペースの問題もあるね・・・
60代 男性

図書館は飲食禁止なので、カフェスペースがあればもいいと思う
上富良野高校生

最近カフェ併設の本屋さんとかもあるよね！
上富良野高校生

図書館にない本も違う図書館から取り寄せて借れますので、ぜひ皆さんご利用ください
図書館職員
北海道全域の図書館と連携してるんだって。

図書館利用のご案内

所在地 富町1丁目3番25号公民館内
電話 0167-45-3158
開館時間 午前9時30分～午後6時
休館日 月曜日・祝日・年末年始
貸出 1人10冊以内 14日間



知ってる？

子ども読書推進事業

高校生までの子どもを対象に1冊借りるとスタンプ1個を押すスタンプ帳を発行。
スタンプ100個で文房具、200個で図書カードをプレゼント!!



本を借りて、図書カードをもらおう！

議会広報特別委員会

委員			副委員長		
高松克年	小田島久尚	元井晴奈	米沢義英	佐藤大輔	小林啓太

編集後記

■いよいよ「東京2020オリンピック・パラリンピック」の年となりました。マラソン・競歩の会場が札幌に変更され、海を渡らなくてもオリンピック競技を間近で見られる絶好のチャンスです。サッカー予選も！
■去年は連日の猛暑で暑い夏でした。また、ラグビーワールドカップでの日本チームの大活躍で日本中がワンチームで応援し、大いに盛り上がりました。今年の夏はオリンピックで昨年以上に熱い夏になることでしょう。

■昨年8月に初当選させていただいた新人議員4名を含む6名の広報委員会を中心に、議会全体での新しい企画・記事作りを一緒に考えています。新たな取組みにご理解をいただくとともに、是非ご意見をいただきたくお願いします。

(小田島 記)